感動の一点

『イワオヌプリ』
1974年　小川原　脩　画

倶知安の市街地から西の方角に目をやるとニセコアンヌプリの右側に独特な山容のイワオヌプリが見えます。6000年前まで活動していた火山で、今も登山口付近は硫黄の臭いがしています。長い年月をかけて自然が造りあげた形状は山麓に生きる人々のふるさとの山として親しまれています。

小川原脩は季節ごとに変化するこの山をよく画題にしています。この作品は紅葉の時期に制作されたのでしょう。明るい青で軽やかに塗られた空。色彩豊かな紅葉が広がる森にどっしりと重量感のあるイワオヌプリが印象的に描かれています。

緩やかな起伏と高低差のある斜面手前の森は緑が生い茂り、奥に見える森は赤や黄色の鮮やかな絵の具で紅葉する木々を表現しています。柔らかいタッチで表現された樹林とは対照的に、山は陰の部分と陽の当たる部分の明暗をくっきりと塗り分け、斜面の所々に見える鋭い線が山肌の荒々しさを表現しています。まもなく訪れる冬を前に、山と森が見せる色彩のショーを一瞬で捉えたふるさとの風景です。

文：金澤　逸子　（小川原脩記念美術館　学芸スタッフ）

ふるさと探訪

背伸び消火栓

499回

11月に入り、街中では冬の準備として雪囲いや除雪用具の点検が着々と進んでいますが、通りにある消火栓の形も変わっていることに気付いた方はいますでしょうか。

消防署では、雪がたまりやすく、夏場の高さでは雪に埋もれてしまう場所の消火栓の放水口や開閉用バルブを上に伸ばす器材を取り付けて、冬仕様にしているのです。町内に約200カ所ある消火栓のうち、市街地では約6割、郊外でも約3割のものに1㍍や1.5㍍の背伸び用の器材を取り付けています。設置している期間は10月末から4月頃までです。

この背伸び消火栓は、当時の北海道新聞記事によると、1975（昭和50）年に他の町の開発例を参考にして倶知安消防署で考案した器材で、町内の鉄工所で製作されました。当時は消火栓の会社でも冬対策用のものがありましたが、高額で買いそろえるのが難しかったため、自前で用意することで安価に消火栓を冬仕様にすることができたそうです。

しかし、倶知安は雪のとても多いところなので、翌年1月の新聞記事には「背伸び消火栓、沈没」という記事があり、2㍍くらいに伸びた消火栓も埋まるほどの積雪があったそうです。消防署によると、降雪期は月1回の除雪と大雪時の除雪が欠かせないそうです。

背伸び消火栓

文：今井　真司（倶知安風土館　学芸補助員）

ミュージアム通信

小川原脩記念美術館　☎21-4141
観覧料：一　　般　500円（400円）
　　高校生　300円（200円）
　　小中学生　100円（50円）

倶知安風土館　☎22-6631
観覧料：一　　般　200円（100円）
　　高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は9時～17時
　入館は16時30分まで
※（　）内は10名以上の団体料金
11月の休館日 毎週火曜日
★3日の文化の日・美術館開館記念日は美術館・風土館観覧無料

展覧会のお知らせ

■第1展示室

開館25周年記念第66回麓彩会展

1958年、小川原脩をはじめとする8人の発起人により創設された「麓彩会」。倶知安にゆかりのある作家たちの近作を通じて、多彩な美術を紹介します。

会期：開催中～令和7年2月2日㈰

■第2展示室

開館25周年記念麓彩会と仲間たち展

小川原脩とともに麓彩会を創設、活動した作家たちの当館所蔵作品を紹介します。

会期：開催中～12月1日㈰

アート・イベントのお知らせ

■土曜サロン

世界美術館紀行

フランス・パリにあるオルセー美術館に収蔵されているマネやクールベの作品を鑑賞します。

日時：11月16日㈯14時～14時40分
会場：映像ルーム（無料）※予約不要
お相手：金澤逸子（学芸スタッフ）

おとなの手しごと（30）ピカピカのオーナメントを作ろう

ねんどのモチーフに色を塗ってクリスマスオーナメントを作ります。

日時：11月30日㈯14時～16時　会場：ロビー（無料）
定員：10名※要予約、高校生以上、親子可
予約受付：電話申込（☎21-4141）

■ロビー展示

第17回絵画コンクール「ふるさとを描こう」作品展

絵画コンクールに応募のあったこどもたちの作品、全190点をロビーに展示します。

日時:11月3日（日・祝）～12月1日㈰　会場:ロビー（無料）

■文化の日（11月3日）は美術館・風土館無料開放日

「自由と平和を愛し、文化をすすめる」文化の日は、小川原脩記念美術館・倶知安風土館は、終日無料開放します。
【イベントも開催します】どうぞお立ち寄りください。

○小川原脩記念美術館

・ふるさとを描こう絵画コンクール表彰式10時～
・友の会「フェルトワークショップ」11時～（20名※予約不要）
・友の会「ポストカード・ペーパークラフト配布」終日

○倶知安風土館

・「ビート（甜菜）から砂糖を作りませんか」　10時～12時（参加料無料）　場所：体験学習室

裏小樽モンパルナス

それは、小樽駅から割と近い梁川通りにある複合文化施設。まずもってこの名前がすこぶるカッコイイ。

築百年の古民家を含む三つの空き店舗を、クラウドファンディングを活用しつつ改修。レンタルアートスペースや民泊、飲食や物販も可能な場所として、今年の5月にリニューアルオープンしたようです。

実際来てみれば、私の好きなラーメン店や小樽中央市場の近くで、何度も通ったことのある場所でした。

このときは新聞の記事で、小樽在住の作家11人によるグループ展を紹介していまして、小樽市民ギャラリーでは大型作品中心の展示、梁川通りでは小作品やグッズ販売といった、マルチな展示方法。作家さんと施設についてお話しもできました。

以前から映画祭や芸術祭も開催されており、今後もアート・カルチャーの発信拠点として要注目なのです。

館　長　福原秀和